

思いやりの心 かけがいのない命を大切に

明けましておめでとうございます。

「人権機関有田川」も4年目を迎えることとなりました。これも、町民の皆様方や関係団体のご支援の賜物と深く感謝し、心よりお礼申し上げます。

今後も、皆様とともに「幸せな生活を営めるまちづくり」に寄与するため、各種啓発活動を計画していきたいと考えております。ご協力、ご参加をよろしく願います。

■人権に関するお問い合わせ

吉備庁舎 人権推進室

TEL 52-2111
FAX 52-7066

「人権とかけがえない命」

世界中のいたる所で、今なお人の命が軽んじられた事件が後を絶ちません。一人ひとりが自らの命を大切にし、他者の命を尊重する気持ちを持ち続けることが必要ではないでしょうか？

そんな命の大切さにふれた素晴らしい作品が、若い世代の方たちによって作られました。(財)和歌山県人権啓発センターが

募集した平成20年度「人権の詩(こころのうた)」において、理事長賞を受賞された作品をご紹介します。

中学生の部



吉備中学校 2年
野田奈津美さん

「命」

近所の家で赤ちゃんが生まれた。私は赤ちゃんを抱かせてもらった。体は、すごく小さくて、強く抱くとこわれてしまいそうだった。でも、抱くとすごく重たかった。私の手に命の重みが伝わってきた。赤ちゃんは、私に笑いかけてきた。その笑顔を見ると、みんなが笑顔になった。赤ちゃんは、その笑顔でみんなを幸せにしてくれた。人が一人生まれてくるのは、すごいことなんだ。その時、私は実感した。

一般の部



耐久高等学校 1年
滝 逸子さん

「命のバトン」

「ホギヤ」
数えきれない「奇跡」が重なった瞬間
命のバトンをにぎり、無限の未来に向かってスタートする
バトンをにぎり一生懸命走るあなたは、誰よりも輝いている
そんなあなたは、きっと誰かを笑顔にし、元気つけ、時には心配させ
誰にもかえられない、かけがえない存在

頑張り屋のあなただから、時には疲れてしまったり歩いてしまいかもしれないどこかで立ち止まってしまいかもしれないそれでいいんだ
歩いたって、立ち止まったって、疲れたなら休んだっていいんだよ
でも、明日は
今日よりも昨日よりも一歩前へ進むんだ
スタートがあるなら、ゴールはきっとある次にバトンを受け取る人が見えるまで、ゴールするまで
途中でバトンを捨ててはいけない
あなたは一人で走っているんじゃないたくさんの人が側にいて、あなたを見守っている
だから最後まで、あきらめないであなたが頑張ったゴールした時、命のバトンは次の人へと受け継がれていく

新春人権映画会のお知らせ

2009年、新春。みなさんと映画鑑賞はいかがですか？両作品とも実話に基づく感動作。ぜひご覧ください！

◇「ふみ子の海」
とき／1月31日(土)
18:30～



ところ／きびドーム
昭和初期の新潟。瞳から光を奪われながらも、人々の心に灯りをともし続けた一人の女性を描いた感動作！

◇「明日への遺言」
とき／2月28日(土)
18:30～



ところ／金屋文化保健センター
誇りや品格を見失った現代にこそ観て欲しい、心揺さぶる「愛」と「絆」の感動実話！

◇入場券
1本500円 2本900円
*各庁舎にて販売

◇主催
「人権機関有田川」・有田川町